

令和5年まちづくり懇談会会議録

開催日時	令和5年2月7日（火）18:00 ～ 19:13
会 場	梟舞生活館
自治会名	梟舞連合自治会
出席者	<p>【町側】</p> <p>大野町長、田中副町長、久保田教育長、柴田総務部長、藤沢保健福祉部長、水谷産業建設部長、米田地域振興部長、片山教育部長、渡辺町立病院事務長、</p> <p>佐伯地域振興課長、森多地域振興課主幹 11人</p> <p>【自治会側】</p> <p>19人（男性12人、女性7人）のほか、町議会議員4人</p>

《顛末内容》

主 な 内 容	
開 会	18:00～
自治会長挨拶	<p>18:01～</p> <p>お晩でございます。</p> <p>生活館が改修されてから、お目にかかるのが初めての方もおります。改修されてすぐにコロナで、生活館の使用禁止という辛い目にあったのですが、お披露目も出来ないで今日に至りました。最終的には、若干ですけれども改修されて、今日もそんなに暑くも寒くもないですが、頭には良いですよということですから、今までの寒さを考えたら、改修されて本当に良かったと思います。</p> <p>これからも、この地域に根差した生活館の運営のためにも、積極的に住民の方に利用していただきたいと思います。改善センターの設立に当たりまして、梟舞自治会の指標が入口にあります。皆さんにもう一度ご披露してスタートをしたいと思っております。聞いていただきたいと思っております。</p> <p>「幸福は人生の宝、生き抜く力を養い、合い助け合い、自治の心で、希望に満ちた、生きがいのある、豊かな梟舞のまちづくりに努めよう」という文言でございます。これは、ここの梟舞小学校の校長でありました三浦喜平さんが書を書き込んでおります。梟舞自治会の指標ということで、このように我々も指標の下に一生懸命、地域住民の自治会の一員となって進んでおりますけれども、今申し上げたように、コロナ禍ですから、まだまだ集合するのは早いのではないかとということで、事務局としては、もう少し後のほうがいいのではないかと思いつつ総会に臨んだところ、コロナばかり考えているよりも、行動して今やらなければならないというその悩みごと、私の悩みを聞いてほしいという強い言葉がございましたし、その気持ちに動かされて、それではもう我々もじっとしているより、悩んでいるのであれば、この言葉を皆さんに聞いていただいて、これからのまちづくりの一環の橋渡しとなれば幸いです。そういうことで、参加された会員の皆さん、それから今日この会場に出向いていただきました行政のそれぞれの方々については、それぞれの指導のもと、助言したいこと、提案事項も含めて、こうやれば、梟舞の住民の</p>

	<p>方はもっと良くなるのではないかなというような問題提起などをいただければ幸いです。</p> <p>我々はそれを糧にして、次のまちづくり、つまり鳧舞のまちづくりのためにも頑張りますし、あえて新ひだか町のために地域住民を挙げて協力できれば幸いですと思いますので、ひとつご指導、ご鞭撻をお願いいたします。よろしくお願いいたします。</p>
町長挨拶	<p>18:05～ 大野町長</p> <p>改めまして、お晩でございます。</p> <p>自治会長さんから話しありましたが、この建物に入ってきましたらすごく暖かいです。この広いところをストーブ2つで温めているのですから、かなり断熱材入っているのかと思いますけれども、新しい施設を初めて見させていただきました。先ほど裏と奥を見せていただいて、畳の部屋もある。ここで、前もお話ししたかもしれませんけれども、私の爺さんと叔父さんの葬儀や、古いところでやった記憶がございまして、そのときから見ていたと思っていますけれども、本当にこういうものができ上がって良かったと思っています。</p> <p>冒頭、会長からコロナのお話しがありましたけれども、全然入院もしていませんので、自宅で監禁状態になりまして、幸いなことに軽くすみましたが、特に最近、医療関係の中から結構出ています。クラスターになる率が高いものですから、やはりその閉鎖された空間の中では、感染がすごく高いことになっていますが、全体としてはかなり数字が落ちついてきています。2類から5類に変わるという新聞報道もありますけれども、その辺りどういう対応になるのか、マスクのつけ方一つにしても、どのようになるのかはこれからの話しだと思いますので、また決まり次第、皆様には広報などを通じてお知らせしたいと思います。</p> <p>今日皆様方から懇談テーマをいただいておりますので、それも含めまして十分に議論をして、話しをお聞きしたいと思っていますのでよろしくお願いいたします。</p>
職員紹介	18:07～
資料説明	<p>18:09～ 渡辺町立病院事務長</p> <p>・令和5年度三石国保病院の診療体制の変更について</p>
質疑 自治会員A	<p>18:12～</p> <p>三石国民健康保険病院の診療体制の説明は分かりました。これからの今後の三石国保病院が診療所になるのではないかという話しをお聞きしておりましたので、その辺りを説明いただければと思います。</p>
藤沢保健福祉部長	<p>病院改革プランのお話しにつきましては、各連合自治会から懇談テーマとして要望がありましたが、以前にご説明させていただいた時に、病院改革プランについては別な日程で改めてご説明をさせていただくというお約束をさせていただいております。現在、広報にも入れさせていただきましたが、町民の意見等をまとめたものを皆さんに広報でお知らせしております。これらを受けて最終的な改革プランの見直しをさせていただこうと思っています。今日のまちづくり懇談会でお話しをしてしまうと、他の大事な懇談が出来ないということ</p>

自治会員 B	<p>もあって、大変申し訳ありませんが病院改革プランにつきましては、再度説明会を開催し、ご意見ご要望等について対応させていただきますので、本日のまち懇ではそれ以外の部分でお話しをしていただければと思いますのでご理解いただきたいと思います。大変申し訳ございません。</p> <p>診療体制が変わり小児科が無くなることで、町民の足をどのように考えているのかお聞きしたい。</p>
渡辺町立病院事務長	<p>小児科については、現在、土田先生と協議を行っていく中では、当面は対応が難しいというところでもございました。ゆくゆくは少し勉強させていただいて、小児にも対応していきたいという話をしています。</p> <p>足についてですが、病院のバスで通われているということになりますので、現状ではそれぞれのバスを利用させていただき、受診をしていただくということになるかと思えます。小児については、全く先生がいないというわけではなく、電話をいただく手間はありますが、まず先生に相談をしていただいて、可能であれば、先生も診ることができるというところもありますので、申し訳ありませんがお手間をかけますけれども、それらの対応でお願いをしたいと考えております。</p>
自治会員 B	<p>総合診療という考えは無いのですか。静内に小児科医がいる。その先生が週1回来ていただくとかそういう対応は無いのですか。</p>
渡辺町立病院事務長	<p>町立静内病院は、週3日、月、水、金、北大から出張の先生に来ていただいて診察をしてもらっております。そのうち1日でも診療できないかということで相談をしましたが、難しいという返答でもございました。申し訳ございません。</p>
自治会員 C	<p>診療体制が確立されているようでいないということで、我々の心配ごとがだんだん増えてしまう。あと何年か分からないが、徳洲会が新しいビジョンでやりますと出ています。そうなると、日高全体、新ひだか町全体でもいいから、民間との繋がりということでどうなのかと思う。小児科が例えば不足するときは、連携を密にして体制を十分にするとか、そういう連携プレーした結果、こういう体制にするというような、何かもう少し具体的に繋がるような、具体策を持った返答を我々は望んでいます。今までの小児科は無くなりました、すみません。何でもすみませんで済むのだったら、我々も集まって言いたくないことも言わなくていい。我々は、だんだん過疎化になって行くし、そういうことは分かるけれども、最小限こういうふうにして他との連携を取りながら、国保病院を維持するとか、総体的にもっと無くなればどうなのかという問題になりうる。あくまでも今の体制はこうだけでも、こういうようなことで究極を乗り切っていきたいという回答を望むし、答弁をしていただきたいということですので。現状では進まないし、乗り切れないからすみませんでは済まないということだけ認識していただきたいと思います。</p>

渡辺町立病院事務長	<p>医師の確保というのは非常に難しいと思っています。三浦先生が内科・小児科でしたので、小児科医が見つければよかったとは思いますが、日高管内を考えても小児科医は少ない状況です。町立静内病院は、月・水・金を出張医による診察ですが、診察を行っています。もし、患者さんがよろしければ、静内病院と三石国保病院のカルテも共有できます。小児の病気も突発的なものですので、カルテが繋がったというところでは難しいかもしれませんが、過去の治療内容等も分かりますので、何とかスムーズに静内病院で診察をしていきたいと考えております。</p> <p>今回、4月1日から着任されます土田和幸医師は、先ほどもご説明いたしました。この総合診療科は、簡単に言うと何でも診ますよという科です。本当にこの地域にとっては、打って付けの先生が来てくれたのかなと私は考えています。八木橋院長もいる中で外科というところもありますが、三石地区だけではなく、今後静内地区でもそういう先生を増やして、小さなお子さんからお年寄りまで幅広く診ていただけるような体制を今後作っていききたいと思っています。</p> <p>会長からもお話しがありましたが、2025年に徳洲会病院で素晴らしい建物が建設されると新聞折り込みが入っていました。新ひだか町では、町立病院が2か所ございますけれども、真剣に考えられて、かなりこちらに移行するのではないかと思います。私も5.6年すると80歳になりますが、団塊世代で、本当にもう病院に行くか行かないかという年齢になりますが、時間の関係もあります、町長のお考えもお聞きしたいと思っています。</p> <p>徳洲会病院が新築されるという事は新聞折込に入っていますので、徳洲会病院から概略についてはお聞きしています。このような建物をこの時期までに建てる話しを聞いています。</p> <p>徳洲会病院は、診療科をどう用意できるかということ併せてやっております。徳洲会病院には医師の確保の問題もあるのですが、それはそれとして、徳洲会病院の医師の確保、何科を開設するのかというのは、並行して検討している最中ということなんです。</p> <p>そういう中で一方では、日高管内における医療体制をどうしようという動きが別にあります。実際問題として浦河赤十字病院が、日高管内の中核医療機関として指定されております。あと2年ほど中核医療機関の期間があると思いますが、徳洲会の診療科ですとか、そういうものが出てきますと日高における中核をどうしようかという議論が北海道で地域別に行われるのだらうと思っています。そういう中において、うちの町に関しましては、そのような大規模な動きもありますけれども、必要最小限度の医療は、やはり町でしっかり持たなければならぬという認識はしておりますので、その中において、この町に合った医療体制を作っていきたい。それには民間の方々との連携も当然必要になるのだらうと考えております。</p>
自治会員 A	
大野町長	

<p>懇談希望テーマ</p>	<p>18:27～</p> <p>①北海道の防災計画の見直しや日本海溝・千島海溝の地震想定などの報道があるが、新ひだか町ではどのような対応を考えているのか。</p> <p>②独居高齢者が増えており、災害時（津波）に対する避難時の不安が高い。過去に要援護者支援などあったと思うが、現在の自助・共助・公助の基本的な考え方は。</p>
<p>柴田総務部長</p>	<p>今回は、大きく2点のご質問がありました。</p> <p>まず1点目に、北海道の防災計画の見直し、また、日本海溝・千島海溝の地震想定などの報道の中で、町ではどのような対応を考えているのかということでございます。今、自治会長さんからもお話しあったとおり、国あるいは北海道で、今回、日本海溝・千島海溝の震源とするマクニチュード9クラスの地震が起きたという想定のもとに、新たな津波浸水の区域が公表されました。これを受けまして、当町では昨年の7月に町の防災計画を修正しながら、ちょうど10年前の平成25に、全戸に配布をさせていただいた防災ハンドブックを10年ぶりに改定すべく現在作業を進めておりまして、3月25日の町広報と一緒に全世帯に新しいマップをお配りしたいと思っております。前回、平成25年2月の浸水区域と大きくは変わらないのですが、微調整が行われておりまして、改めて皆様にもっさらな目で見ていただきたいと思っております。津波ということで申しますと、鳧舞エリアで町が指定している津波の一時的に避難する場所は、鳧舞共同墓地と旧三石温泉の2か所でございます。</p> <p>もう一つは、国道から本桐の方に向かって入りますと、おおむね200メートル奥に行けば、浸水区域が回避できる状況ですので、もちろん一刻を争う時は自分が見える範囲の一番高いところに行ってもらうしかないのですけれども、基本的にはその三択の中で、皆様が一番行きやすい場所に避難していただくことが必要になると考えてございます。今後は、せっかくハンドブックを作っても町民一人ひとりにきちと理解をしていただければ何も意味がないこととなりますので、2月11日に鳧舞老人クラブさんからのお声かけで防災講話を実施させていただきますけれども、当町の総務課防災グループで、ここ数年、活発に防災講話というものに力を入れております。もちろん自治会もそうですし、老人クラブ、最近では、小・中学校に向けても防災講話を実施しております。こういう中で、いざというときに、どういう場所に避難できるのかということも含めて理解を深めていただき、万が一の有事に備えていただく、これしかないと考えてございます。今後、お声がかかればいつでも当町の防災担当が飛んできますので、お声かけいただければと思っております。併せまして、独居老人のお話しもありました。現在町では、津波等の避難を要するときに、支援が必要な方の要支援者名簿というものを作成して毎年更新しております。現在約730名の方が掲載されておりまして、町で毎年管理をしております。鳧舞で申しますと、グループホームゆとりの里さんの施設は除きまして、現在3名ほどおられるということで認識してございます。今後は、この730名ほどの方の中で、様々な場所に住んでおられますので、津波のときはその方々が危険にさら</p>

自治会員D	<p>される、洪水ではこの方々が危険にさらされるということをきちんと整理した上で対応を考えますが、正直なところ、もし万が一の時に役場職員がそのお宅に駆けつけてという状況は物理的に難しいものがございます。やはり、各種サービスを受けておられる方であれば、施設が関わる場合もございますけれども、一般的には、ご近所様の皆様に助けをいただきながら、避難するしかないと思っております。ただ、名簿に登載された方全てが、助けを望んでいるかどうかはまた別な部分がございますので、時期ははっきり申し上げられませんが、どこかの段階でご本人にその支援を求めるか求めないかという意味確認を行った上で、支援を求める方々の対応について、自治会の皆様と具体的なご相談をさせていただきながら、理想的な形では、一人ひとりの避難計画を立てて、こういう場合は誰が助けに行く、どういうルートで逃げるというものを常に備えておく状況を作りたいと考えております。ただ、一方では言うほど簡単ではないということも思っておりますので、そういう中で一つ一つクリアしていきたいと思っております。繰り返しになりますけれども、当面は、様々な場面で防災講話等を通じて、いろいろなことを知っていただく努力、一方では、自力で避難出来ない方に対する支援方法、この2本柱を軸に防災対策を考えていきたいと考えてございます。</p>
柴田総務部長	<p>十勝沖地震とき、学校にすぐ波が来たのだから墓地まで行く間に流されます。馬場さんところは海拔がゼロだから。それを計画してやっているなら良いけれども、ただやるというだけの話しでは通用しません。十勝沖地震のときは小学校6年生だったけど、学校が揺れている時に津波がきた。家まで帰れなかった。高いところに逃げろと言われてもそれは無理です。だからどこか別にきちんと高いところにすぐに逃げられるところ作らないと何も意味ないのではないかと思います。</p>
自治会員E	<p>国や北海道が想定している内容で、地震が起きてから津波が到達するまで、おおむね24分を想定してございます。その時間の中で先ほど申しました旧三石温泉、鳧舞共同墓地、あるいは本桐に逃げることにはなりますが、万が一、そんなこと言っていられない状況になれば、例えば、鳧舞神社の小高い丘や斜面などに逃げてもらえないかとは思いますが、今の所はその24分で避難場所に逃げられるのかということになると思います。町としては一切何もしませんということを言っているのではなくて、地域の方々とお話しする中で、こういうことをすればもっと逃げやすいなど、いろいろとお話を聞かせていただきながら我々も考えていきたいと思っております。</p>
柴田総務部長	<p>先日自治会の総会をやったときに、避難のことでお話しが出ました。それで、私達も歳だし墓までもう歩いて行けない。冬なら寒くて建物もないところでどうしたら良いか協議した。自治会長は本桐生活館に逃げて欲しいと言われたがどちらに行けば良いか。私は少し高いところの厩舎にした方が良いのではないかと思います。</p>

自治会員 A	<p>今後、自身の力だけで避難するのが難しい方々については、地域のお力も借りながら、避難計画を作っていくと申し上げました。そういう中で、町が指定している鳧舞共同墓地や旧三石温泉以外に逃げたらだめですと言っている訳ではなく、地域の具体的な逃げ場所があるとすれば、土地の地権者さんのご協力がなければ勝手に入る話しになりませんので、町としては指定出来ませんが、具体的なこともご相談したいと思っています。ただ、津波の場合は一時避難場所と正式な避難場所がありまして、一時避難場所は、とにかく津波が引くまで一旦逃げる場所、それが鳧舞共同墓地や、旧三石温泉となります。そこで一旦津波が引いた後に、ずっとそこにいる訳にはいきませんので、本桐生活館に正式な避難の拠点を町で作って、そこで滞在できるような環境を作っていくということです。一時避難場所にずっといるわけでは無いということだけのご理解いただきたいと思いますし、いろいろとご心配あれば相談に乗りますので言っていただきたいと思います。</p>
柴田総務部長	<p>東静内から春立、三石や鳧舞にかけては全部海岸沿いです。様子にも山側に登るように手すりがついています。町が設置したのか、どなたが設置したのか分かりませんが、うちの町はどうなのでしょう。それと、鳧舞共同墓地は寒い時期に津波が来た場合に皆さんの体を温める場所、プレハブなどを一つ添えていただきたいと思いますけれどもいかがですか。</p>
自治会員 D 柴田総務部長	<p>海岸のところどころに法面に上がる場所があります。全て把握はしていませんが自治会で自ら付けられたところも相当多いと思っています。今後、防災講話の機会などでいろいろなお話しをする中で、地域としてこの場所に階段が欲しいですか、手摺が欲しいということについては、言っていただければ検討したいと思います。ただ、費用がかかることですので要望されたものが全て形になるかどうか分かりませんが、耳を傾けてやれることからやっていきたいと思っています。ただ、先ほどのプレハブにつきましては、鳧舞の方だけでも200人以上の方々がいらっしゃる中で、半分に見たとしても100人ですが、プレハブではどうしようもないです。やはり、波が一旦引くまで逃げてもらうことになると思います。早い段階で避難場所にできるだけ短時間で逃げてもらう方法を町としては考えていきたいと思っていますので、御理解いただきたいと思います。</p>
自治会員 F	<p>津波は川を走るため、逃げられない場合はどうするか。</p> <p>津波の時の鳧舞側の周辺の状況は来月お配りするハンドブックに記載していますが、道路は浸水しないとは言いませんが、何とか通れることを想定しています。地震で道路が崩壊することになれば前提が変わって来ますが、水によって奥に行けなくなることは今のところ想定していないので、地割れなどがひどい場合は別なルートを考えなければなりませんけれども、本桐に身を</p>

柴田総務部長

寄せていただきたいと考えています。

梟舞に来て10年ちょっととなります。以前は教員をやっていたりして梟舞地区の過去の防災計画などは分からなかったのですが、やはり梟舞に住んでいて一番危惧されるのは、津波から早く逃げるといことです。今お話しがあったように墓地に逃げて冬はどうなのだろうかという心配があるのですが、2年前に国の防災計画で北海道では13万7,000人の人が推定で死亡するという報道がありました。しかし、避難場所を整備すると8割が助かるという新聞記事を大事に持っています。

この地区は、梟舞共同墓地と旧三石温泉ということですが、その辺りの整備を何とかして欲しい。ハード面では補助が今までは2分の1ですが、3分の2になるということで、避難タワーなどを作っても何億です。億のお金を使わなくてはならないということで、町としても厳しいのかなと思います。高いところのホテルと提携したりしていることは新聞で知っていますが、まず避難場所をもう少し整備してほしいということ。最低でも、暖房や食料などはある程度保障してあげたいと思います。

次に、ソフト面です。今担当部長から、講話などを通じて要支援者等にお話しをするということを知りましたが、各自治会で防災体制をある程度作っておかないと、いくら町が声をかけても助けるのは近くに住んでいる地域の人だと僕は思います。そういう防災体制をどのように作っていくのか、どういう体制を作ったら良いのか。要支援者の話しがありましたけど、個人情報を取扱いたいか、町としての考えを各自治会の防災の代表者なり、自治会長にきちんと抑えてもらって、それから各自治会が動くという体制を作らなければならないと思いますが、そういうことを聞きたいと思います。

お話しとしましては、ハードのお話しとソフト面の話しと2つあったと思いますが、前段の一時避難場所の部分でございますけども、先ほどもご質問を受けてご答弁をしていますけれども、町としましては、一時避難場所に長時間いていただくことは想定していません。正式な避難所に1分でも早く動いてもらえる方法を考えたいと思います。一時避難場所に暖をとるところを作り、食料も用意してということについては想定していません。町内の一時避難場所に、全てそういう機能を持たせるとなると、とんでもない数になりますので、あくまで一時避難場所ということでご理解いただきたいと思います。ただ、先ほど別の方からもご指摘ありましたけれども、一時避難場所に逃げるときに、手摺が無いから登りづらいとか、階段が急だなどのご相談については、我々もお受けしながら対応できることからして行きたいと思っています。

もう一方の地域の助け合いの共助というところですけども、今おっしゃったとおりだと思います。いざというときに、地域が助け合える仕組みがなければ、助かる命も助からないと思っておりまして、我々も事あるごとに、自治会長様をはじめ地域の方々に自主防災組織というものを作っただけませんかという呼びかけをしてございます。梟舞地区についてはもう既に設立していた

自治会員 F	<p>だいておりますが、全町的には、まだ48団体で、パーセントで言うと25パーセント程度で、まだまだ4分の3が設立していない状況でございます。今後も呼びかけながらやっていきたいと思っておりますし、近年、世界各国で、ちょうど昨日、トルコで大きな地震があって、3千人、4千人亡くなったと話してもされている中で、かなり国民の防災に対する意識というのは変わってきているところもありますので、やはり呼びかけをしながら、周りに目を向けていただいて、助け合いの仕組みを役場も協力しながら一緒に作っていくということを粘り強く続けていくしかないと感じています。</p>
柴田総務部長	<p>前の防災ハンドブックの中にも、自主防災組織が載っています。町としてはこういうものを作って欲しいと思っていますが、自治会長さんなど、ある程度動くのは各単位自治会だと思います。そこまで町は面倒見られないとか、出来ないと思います。だから、そういうことについて、やっぱり代表者なり自治会長さんを集めて、最低限こういうことを取り組んで欲しいというような会議を設けて欲しいという要望意見です。</p>
自治会員 F	<p>毎年自治会長会議を行っております。そこでは行政のお話をさせていただいてはいますが、進んでいないのが現状です。更に、積極的に地域に刺さり込んでいって何とかお願いしたいと思うのですが、自治会長さん1人ではどうにもならない地域もあります。そこは、簡単ではないかとは思っていますが、今後も繰り返しやっていきたいと思っておりますので、ご理解いただきたいと思っております。</p>
柴田総務部長	<p>毎</p>
自治会員 C	<p>以前自治会長会議に出ましたが、やっぱり防災についての話題は少ない。命に関わることであり、新ひだか町全域が浸水区域になっています。だからやっぱり専門的に防災会議みたいなものをきちんと設置して欲しいという考えです。</p>
柴田総務部長	<p>具体的に検討出来ていないのでお答えできませんが、さらに、各地域にご検討いただけるような流れをどう作るか知恵を絞って考えたいと思っております。</p> <p>住民の方々から貴重な意見ありがとうございます。そういう小さなことの積み重ねが、大きな成果になると思います。防災計画の内容の鳧舞共同墓地と旧三石温泉に一時避難すると決めたのは当時の担当でございます。神社の山との意見もありましたが、もっと高い方が良いということで共同墓地となり、荻伏側は橋が壊れた時を考えて旧三石温泉と二つに分けようということでスタートしました。やっぱり自分の命は自分で守らなければならない。単位自治会の中で本当にここが最適な避難場所かということを見直せということで、今年の課題としました。自分でその時の状況で逃げる場所を考えて行動して欲しいと思っております。まず自分の近くの安全性の確保のためにどうしたらいいかということを考えていただきたいと思っております。</p>

自治会員D	<p>それから、防災無線が新しくなりましたが、この機能とはどんなものなのか。言いつ放しなのか、それとも、どこにどんな状態で被害があるのかというカメラ付き把握しているのかをお聞きしたい。</p>
自治会員C	<p>防災無線の件は、一昨年に全町的にスピーカーを整備し直しましたが、静内の本庁舎から新ひだか全域の海岸線に付けておりまして、一斉に放送ができるシステムになっています。現状の機能としては、放送する機能のみであり、例えばカメラなどで周辺を把握するような機能は付いておりません。リアルタイムに地域の状況が分かる体制にはなっていないということをご理解いただきたいと思います。</p>
自治会員D	<p>近くで逃げるところを考えなかったら間に合いません。地震あったら道路が割れるのだから。人間が落ちたのだから。</p>
大野町長	<p>生き証人ですから、聞き取りをして、実際はどうだったのかということ詳しく調べていただいて、広報でも良いし、我々の広報の鳧舞地区の実話ということで上げていただきたいと思います。</p> <p>十勝沖地震は津波が来たのは7分です。たった7分ですよ。</p> <p>実は私のお袋から十勝沖地震の話しを聞いたことがあります。その時に築港の水が全部なくなった、底が見えたと言っていました。大きい川は当然ですが小さい川も水が走るように上がって来たと言っていました。現在、国が出している震源地は十勝沖地震の震源地と違いますので、今のところ津波は24分というシミュレーションなっています。いずれにしても、大きな地震が来た時には、家の中もぐちゃぐちゃで、想像できない状態であると思いますけれども、先程から総務部長が話しているとおりに、まずは高いところに逃げるということで、みんなで支えながらやるしかないと思います。何かご相談があれば役場に言っていただければ、また検討を重ねていきますのでよろしく願いいたします。</p>
意見交換	19:18～
自治会員E ・鳧舞生活館について	<p>鳧舞生活館が新しくなってからはコロナが始まり、主人が亡くなった時に生活館が使えなかった。それで静内に行ったのですがすごく経費もかかります。これから生活館を貸してもらえるのか、お葬式をやって良いのかどうか知りたい。金額もどのくらいかかるのだろうか。</p>
米田地域振興部長	<p>生活館は葬儀に使えます。今すぐ使用料の額は出てこないですが、そこまで高くはないので安心してください。</p>
自治会員D	<p>海浜公園で海水浴場はやらないのか。やらないのはおかしいと思う。太田町長のときには絶対これから人も呼んできちんとやるからやらせてくださいと言</p>

柴田総務部長	<p>った。それで漁業権を取り上げてやらないのは、つじつまが合わないと思う。この波の悪いところでやったらだめだから最後まで反対した。それでもやって、今は出来ませんという話しはおかしいと思う。</p> <p>現状としまして、町としても海水浴場をやりたくないというよりも、様々な護岸の劣化ですとかで、危険な状況になっているのでやれないという状況です。再開するには、北海道さんとの連携も必要になりますけれども、護岸の改修などの安全対策をきちんとした上で、安心して子どもたちに遊んでいただける環境を作っていかなければなりません。そこが思いどおりに行っていないのが現状でございます。</p>
大野町長	<p>おっしゃることはよく分かります。海水浴場を整備するので、漁業権を放棄してくれという話して、その時の漁師さんたちが協力をされたということは事実としてあると思いますが、今の時点で海水浴場として使えるかどうかという判断をするとすれば、総務部長が話したように現実問題としてできるかという難しいと思いますので、ご理解いただきたいと思います。</p>
自治会員D	<p>できないのは分かるが、草刈りなどの管理も税金で賄っていると思う。できないのであれば税金で返済すればいいと思う。</p>
大野町長	<p>草刈りをしているのはキャンプ場に使っている方で、海の中ではないです。あそこは道の駅とキャンプ場として一体を整備しています。おっしゃっている海のお話しは分かりますが、現在は護岸も大変な状況になっているため、できないことをご理解いただきたいと思います。</p>
自治会長C ・マイナンバー カードについて	<p>マイナンバーの件ですが、マイナンバーが本当に必要だと思っただけひとも推進を徹底していただきたいと思います。このマイナンバーは本当に良いのかという不安がよぎります。本当に必要だったら2月いっぱい完了するように進めていただきたいと思います。回答はいいです。</p>
自治会員D ・廃校舎について	<p>学校はどうするのか。町のやることはおかしい。学校だって住民の人は反対した。広瀬教育長がここは老人ホームに使うから大丈夫だと言った。みんなの税金かかっている。</p>
米田地域振興部長	<p>この梶舞小学校の体育館を作るときに教育委員会へ異動となり、多少ですが携わっております。あの当時の梶舞地区の方のご意見は、地域に先生たちがいなくなったら、地域の自治会活動も立ち行かないのではないかなどのご意見もあり、小学校を建設する当時に話し合いをしています。その記録は見せてもらったことはあります。同じように川上でも地域の方からご意見をいただきまして小学校を建設しましたが、このような結果となっております。現在は、佐藤契約管財課長が廃校を売却するために頑張っていますが、梶舞は土地が国道沿い</p>

<p>自治会員G</p>	<p>のため高額のため、なかなか売れないのが現実です。比較的新しい学校が廃校となってしまったことは、旧三石町の職員としても本当に辛いところでございますけども、何とか有効に使えるようにしたいと思っておりますが、地盤も少し悪い状態であり、まだ売却されていない状態です。浦河町では民間で老人ホームとして活用しているところもありますので、できればそういうところで活用していただきたいと望んでいる次第でございます。</p> <p>学校の件ですが、本当に地盤は良くないのに土地代が非常に高いと思う。地震の通り道で地盤が割れたのは間違いない。地盤が良いのは海側です。ですから土地を安くして、建物は無償でということも良いと思います。それと同時に、業者が入ることになった場合、住民が一体となって賛成していかないと絶対まちづくりは出来ません。ですから、今日来ている皆さん方も両手を挙げて、まちづくりを応援してやるという気持ちで、町長さんをお願いすれば、町長さんだってやりやすくなるのではないかと思います。学校を使ってもらう方法を考えるのが住民だと思っております。ですから土地代は高いから、それこそ無償でもやろうというような気持ちでいかないと、すごい土地です。ですから、私たちが経験しているけど、土地の値段はどうやって決めたのだろうと私はそう思って見ておりました。このまちづくりにはやはり、住民が一体とならなければ絶対できない。そこを住民も考えてやっていったら良いと私は思います。</p>
<p>大野町長</p>	<p>本当にありがとうございます。</p> <p>私が町長になったときは、建物代と土地代で学校を募集していました。2年くらいその内容で募集しましたが、なかなか売るのが厳しいということもありまして、建物は無償にして売却するようなことで公募してみようと思えたことで何件か売れ始めたところです。おっしゃる通り国道沿いにあるため土地代金が高いです。民間の売買であれば安くできますが、役所ですから、国が定めている路線価などいろいろなものを利用して売りますので。いずれにしても、私も早く買っていたきたいと考えていますので、引き続きいろいろな面で他の事例なども調べながら、しっかりと取り組んでいきたいと思っておりますので、またそのときはよろしく願いいたします。</p>
<p>閉会挨拶</p>	<p>19:40～ 大野町長</p> <p>いろいろなお話をいただきまして本当にありがとうございました。</p> <p>やっぱり時代というのは変わってきているものですから、その時代に合わせながら、尚且つ、それを見た中で、どういうことをすべきか非常に難しい。先が読めない時代ですので、難しいですけれども、過去よりは絶対変わっていますので、最低限その状態の中で、しっかりと物を考えながらやっていきたいと思っています。</p> <p>この地区は米田さんと佐伯さんは3月末で退職の年になります。60歳になりますので、これから違う道に行くのか、何をするのかはよく聞いていませんけれども、お世話になったと思っております。引き続き、これからもよろしくお付き合い願えればと思うところでございます。</p>

	今日は本当にありがとうございました。
閉会	19:40 終了